

平成23年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ

コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 前田 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理部

(氏名) 中島 崇

TEL 052-249-3504

四半期報告書提出予定日 平成22年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第1四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第1四半期	4,760	△38.6	123	△62.1	71	△68.8	0	△99.9
22年5月期第1四半期	7,752	67.3	324	△30.1	228	△40.4	99	△56.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第1四半期	5.62	—
22年5月期第1四半期	6,771.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第1四半期	15,881	3,655	22.8	248,644.75
22年5月期	14,936	3,732	24.8	254,669.70

(参考) 自己資本 23年5月期第1四半期 3,618百万円 22年5月期 3,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	—	—	6,000.00	6,000.00
23年5月期	—	—	—	—	—
23年5月期(予想)	—	—	—	10,000.00	10,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,775	△19.0	467	△42.6	269	△58.9	95	△55.8	6,528.31
通期	34,536	18.0	1,794	26.3	1,337	17.3	710	74.9	48,790.54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年5月期1Q	14,552株	22年5月期	14,552株
② 期末自己株式数	23年5月期1Q	248株	22年5月期	248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年5月期1Q	14,552株	22年5月期1Q	14,703株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果により一部の業種では、企業収益の持ち直しの動きがみられたものの、急激な円高の進行・失業率が引き続き高水準で推移するなど、全体としては先行きに対する不透明感が払拭できない状況となりました。

不動産業界においては、政府の経済対策として住宅エコポイント制度が導入されているものの、伸び悩む所得環境や厳しい雇用情勢等により、新設住宅着工戸数は依然として低水準で推移しております。

このような状況下、当グループは販売活動に積極的に取り組むとともに、商品性を高め、他社との差別化を図りながら事業を推進してまいりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 住宅事業

分譲住宅においては、更なる事業期間短縮への取り組み、販売活動に注力してまいりました。売上高は4,271百万円、営業利益は169百万円となりました。

② AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場の来場者数が概ね計画どおりであったため、業績は堅調に推移しました。売上高は402百万円、営業利益は81百万円となりました。

③ その他の事業

収益型不動産の賃貸運営、生活関連ビジネス等を行ってまいりました。売上高は99百万円、営業損失は27百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は4,760百万円(前年同期比38.6%減)、営業利益は123百万円(前年同期比62.1%減)、経常利益は71百万円(前年同期比68.8%減)、四半期純利益は0百万円(前年同期比99.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として、前連結会計年度末と比較して945百万円増加し、15,881百万円となりました。

② 負債

負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して1,022百万円増加し、12,226百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度に係る配当金の支払を主な要因として、前連結会計年度末と比較して77百万円減少し、3,655百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が67百万円(前年同期比70.5%減)となりましたが、たな卸資産の増加による支出が2,113百万円(前年同期は92百万円の支出)であったことを主な要因として2,653百万円の支出(前年同期は169百万円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得等により、66百万円の支出(前年同期比41.7%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる収入が借入金の返済による支出を上回ったこと等により、1,395百万円の収入(前年同期は700百万円の支出)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,324百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末残高は1,955百万円(前年同期比107.4%増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年7月15日の予想より変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

- a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。
- b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。この変更により損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,993,424	3,317,990
完成工事未収入金	72,570	30,064
売掛金	52,994	59,384
販売用不動産	4,334,307	4,326,953
仕掛販売用不動産	4,582,303	2,852,179
商品	4,345	4,163
未成工事支出金	1,071,061	691,546
原材料	18,582	22,111
その他	624,736	494,314
流動資産合計	12,754,324	11,798,710
固定資産		
有形固定資産	2,740,779	2,767,521
無形固定資産	79,233	85,882
投資その他の資産	307,533	284,644
固定資産合計	3,127,547	3,138,048
資産合計	15,881,872	14,936,759
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,130,993	1,092,948
買掛金	79,547	95,623
1年内償還予定の社債	84,000	284,000
短期借入金	5,956,390	3,852,645
1年内返済予定の長期借入金	1,558,110	1,866,610
未払法人税等	70,595	438,473
賞与引当金	30,372	4,685
完成工事補償引当金	85,990	85,020
その他	670,071	747,317
流動負債合計	9,666,071	8,467,322
固定負債		
社債	160,000	160,000
長期借入金	1,765,929	1,883,082
退職給付引当金	5,772	5,617
役員退職慰労引当金	100,923	99,300
資産除去債務	5,568	—
その他	521,951	588,557
固定負債合計	2,560,144	2,736,556
負債合計	12,226,215	11,203,879

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金	3,111,964	3,199,194
自己株式	△40,454	△40,454
株主資本合計	3,620,129	3,707,359
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,850	△1,405
評価・換算差額等合計	△1,850	△1,405
少数株主持分	37,378	26,926
純資産合計	3,655,656	3,732,880
負債純資産合計	15,881,872	14,936,759

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	7,752,374	4,760,297
売上原価	6,923,404	4,044,073
売上総利益	828,970	716,223
販売費及び一般管理費	504,025	593,222
営業利益	324,945	123,000
営業外収益		
受取利息	52	76
受取手数料	2,664	2,819
違約金収入	—	3,277
その他	2,252	2,875
営業外収益合計	4,968	9,048
営業外費用		
支払利息	64,931	47,865
資金調達費用	33,189	9,599
その他	3,159	3,344
営業外費用合計	101,281	60,809
経常利益	228,632	71,240
特別損失		
固定資産除却損	949	247
減損損失	—	3,043
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	852
特別損失合計	949	4,143
税金等調整前四半期純利益	227,683	67,096
法人税等	118,476	56,562
少数株主損益調整前四半期純利益	—	10,533
少数株主利益	9,649	10,451
四半期純利益	99,556	81

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	227,683	67,096
減価償却費	69,842	66,178
のれん償却額	6,422	6,422
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△26,000
受取利息及び受取配当金	△935	△514
支払利息	64,931	47,865
売上債権の増減額 (△は増加)	5,173	△36,115
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△92,226	△2,113,643
仕入債務の増減額 (△は減少)	△275,341	21,969
その他	58,754	△200,528
小計	64,303	△2,167,270
利息及び配当金の受取額	935	514
利息の支払額	△68,041	△55,503
法人税等の支払額	△166,469	△431,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	△169,272	△2,653,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△90,793	△32,427
その他	△22,990	△33,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,784	△66,372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,475,582	4,717,050
短期借入金の返済による支出	△2,564,667	△2,613,305
長期借入れによる収入	298,650	—
長期借入金の返済による支出	△885,964	△425,652
社債の償還による支出	—	△200,000
リース債務の返済による支出	△3,256	△5,310
配当金の支払額	△21,333	△77,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△700,989	1,395,463
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△984,046	△1,324,566
現金及び現金同等物の期首残高	1,927,118	3,280,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	943,071	1,955,924

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

	住宅事業 (千円)	都市事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,442,145	4,310,229	7,752,374	—	7,752,374
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	508	7,469	7,978	(7,978)	—
計	3,442,653	4,317,699	7,760,353	(7,978)	7,752,374
営業利益	1,316	434,464	435,781	(110,836)	324,945

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な商品

- (1) 住宅事業……戸建分譲住宅の企画・設計・施工・販売、注文住宅の設計・施工、戸建住宅用地の販売、中古不動産の加工・販売
- (2) 都市事業……収益型不動産の企画・販売、収益型不動産の賃貸運営、収益物件用地の販売、ゴルフ場サービスの提供、生活関連サービスの提供

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当グループの報告セグメントは、当グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当グループは、原則として商品・サービス別に区分された事業部及び連結子会社から構成されており、事業展開を行っております。

したがって、当グループは事業部及び連結子会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「住宅事業」及び「AM(アセットマネジメント)事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な事業内容は以下のとおりであります。

住宅事業	戸建分譲住宅の企画・設計・施工・販売 戸建住宅用地の販売 注文住宅の設計・施工 中古不動産の加工・販売
AM事業	ゴルフ場施設の運営受託

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	4,271,546	402,351	86,399	4,760,297	—	4,760,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	164	13,562	13,757	△13,757	—
計	4,271,576	402,516	99,962	4,774,054	△13,757	4,760,297
セグメント利益	169,727	81,393	△27,317	223,803	△100,802	123,000

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連サービス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額△100,802千円には、セグメント間取引消去6,181千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△106,984千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。このため、前年同四半期比については記載しておりません。

各セグメントの主要な事業内容及び関連する会社は以下のとおりであります。

セグメント	事業の内容	関連する会社
住宅事業	戸建分譲住宅の企画・設計・施工・販売 戸建住宅用地の販売 注文住宅の設計・施工 中古不動産の加工・販売	当社 株式会社Design&Construction 株式会社リアルウッドマーケティング 株式会社住空間研究所 株式会社フジプロパティ
AM(アセットマネジメント)事業	ゴルフ場施設の運営受託	森林公園ゴルフ場運営株式会社 株式会社フォレストノート
その他事業	収益型不動産の開発・賃貸運営 生活関連ビジネス	当社 株式会社フジプロパティ 株式会社フォレストノート

当グループの生産実績及び受注実績は住宅事業について記載しております。

なお、AM事業及びその他の事業は、生産及び受注の形態をとらないため、該当事項はありません。

①生産実績

当第1四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
住宅事業	3,655,441	—
合計	3,655,441	—

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数量(戸)	金額(千円)	前年同四半期比(%)	数量(戸)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
住宅事業	177	6,691,504	—	109	4,067,331	—
合計	177	6,691,504	—	109	4,067,331	—

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 住宅事業のうち中古不動産の販売については、事業の性質上、上記には含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	数量(戸)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
住宅事業	102	4,271,546	—
AM事業	—	402,351	—
その他の事業	—	86,399	—
合計	102	4,760,297	—

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 住宅事業の金額には中古不動産の販売分が含まれておりますが、数量には中古不動産の販売分が含まれておりません。
 3 当グループにおける住宅事業の売上高は、第4四半期連結会計期間に引渡す物件の割合が大きいため、第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の売上高は、相対的に少なくなる傾向があります。
 4 前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
ケネディクス不動産投資法人	3,550,000	45.8	—	—